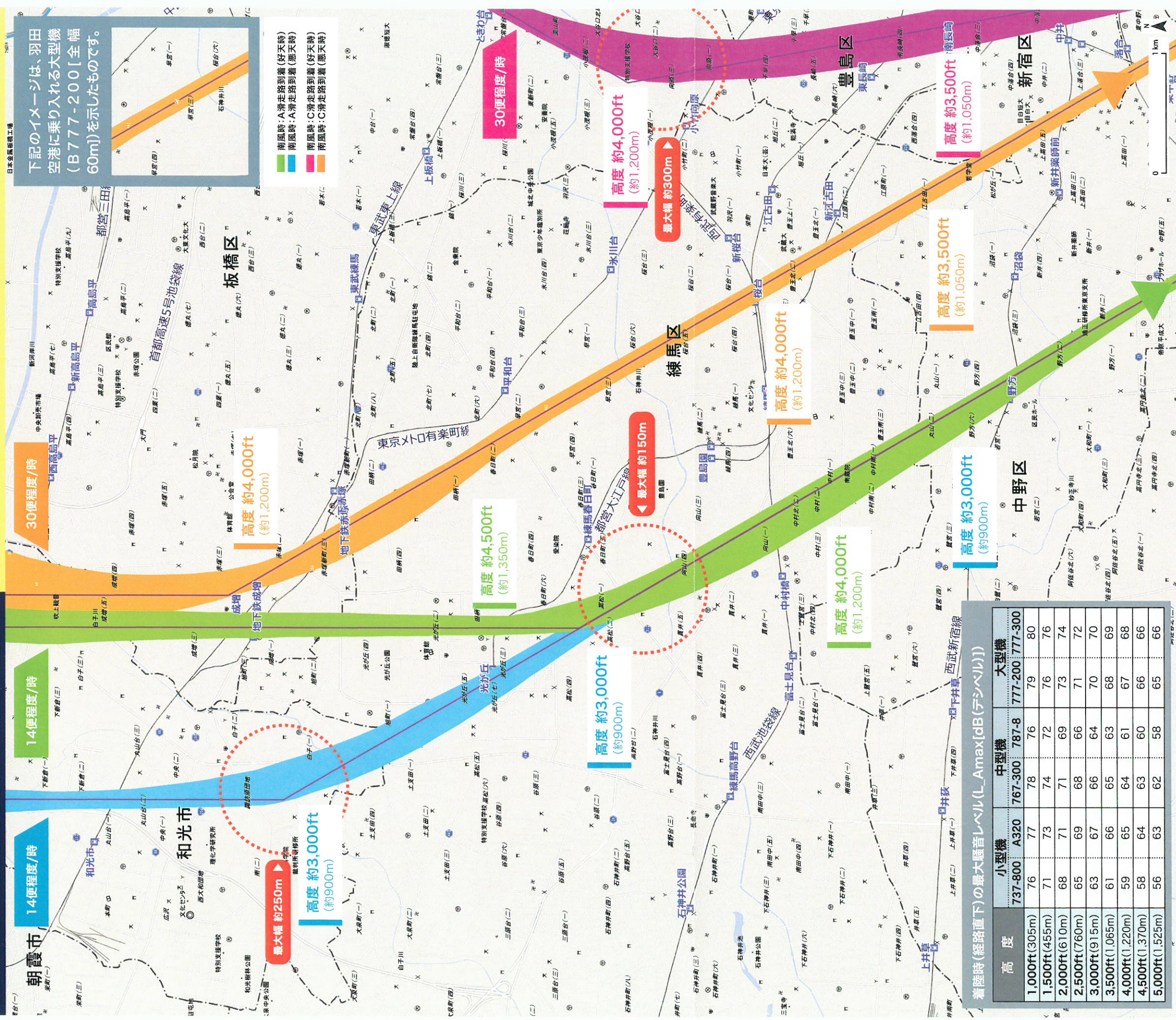


練馬区上空における南風時の新飛行経路(案)

南風時の運用は、年間の約4割と推定(練馬区上空では着陸機のみ)
運用時間:15時~19時(切替時間を含むため、実質3時間程度の運用)

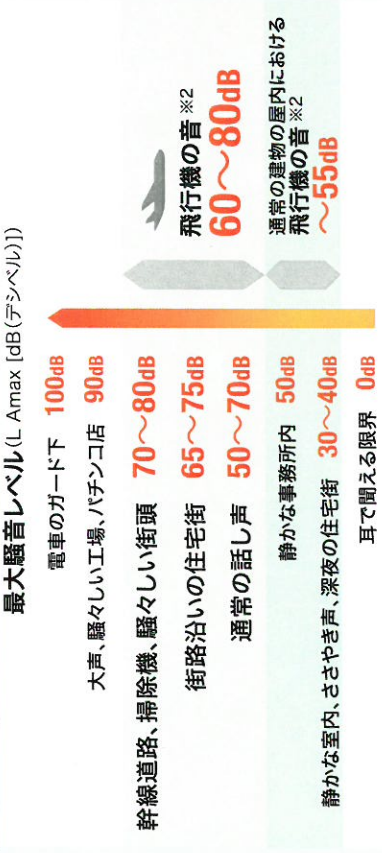
※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
※現行経路(南風運用)では、全ての着陸便が千葉県上空を通過しています
※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです



着陸時(経路直下)の最大騒音レベル(L_Amax[dB(デシベル)])

高度	小型機 737-800 A320	中型機 767-300 787-8	大型機 777-200 777-300
1,000ft(305m)	76	77	78
1,500ft(455m)	71	73	74
2,000ft(610m)	68	71	72
2,500ft(760m)	65	69	71
3,000ft(915m)	63	67	69
3,500ft(1,065m)	61	66	68
4,000ft(1,220m)	59	65	67
4,500ft(1,370m)	58	64	66
5,000ft(1,525m)	56	63	65

騒音環境と航空機騒音の程度について



現状(航空機が飛んでいない時)の騒音レベル

- 住宅街(練馬図書館付近)
平均値:約53dB
瞬間最大値:約68dB
 - 駅前(光が丘駅前)
平均値:約57dB
瞬間最大値:約80dB
 - 幹線道路(目白通り沿い)
平均値:約66dB
瞬間最大値:約85dB
- ※10分程度の簡易測定による参考値

- 着陸時(経路直下)の最大騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での最大騒音値※を推計した値です。
※航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
 - 実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動します。
 - 航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
 - 2つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさは76~77dB程度となります。
- ※1 デシベルとは、音の強さを示す単位(音圧)。騒音レベル(L_A[dB])での瞬間最大レベルを示したもの。
※2 通常の建物の屋内では、25dB程度の通音効果があるとされていますが、目安であり実際の通音性能は建物によって異なります。

ご不明な点やご質問がございましたら、特設ホームページをご参照いただくか、電話窓口までお問い合わせください。

羽田空港のこれから
<http://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>

Tel:0570-001-160 IP電話からは 03-5908-2420
「国土交通省「羽田空港のこれから」に関するご意見窓口」受付時間:平日 9:30~18:00